

ちとせ 市議会だより

No.184

令和元年
第2回(6月)
定例会

目次

- 定例会のあらまし、各委員会の開催状況、議決結果等 2～5ページ
- 代表・一般質問 6～10ページ
- 各委員会構成、会派構成 10～11ページ
- 補正予算特別委員会質疑 11～14ページ
- 政務活動費収支報告 14～15ページ
- 議会事務局からのお知らせなど 16ページ

夏雲と牧草畑(北光 坂田 彰一 さん)

新千歳空港に着陸態勢に入った航空機の窓から見えた気になる景色を探しに原付バイクで散歩中遭遇した風景です。

近くの牧場ではサラブレッドの親子がゆったりと草を食む光景が見られます。

〈撮影者のコメント〉

定

例会のあらまし

● 令和元年度補正予算（政策予算）を可決
 ● 議長に佐々木雅宏議員、
 副議長に宮原伸哉議員を選出

令和元年の第2回定例会は、6月6日から7月1日までの26日間の会期中で開催されました。

この定例会では、令和元年度一般会計補正予算（第1回・政策予算）、条例の制定など、報告12件、議案22件が提出されました。このうち、補正予算にかかわる議案4件については、議長を除く22人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置し、審査を付託しました。また、追加議案を除くほかの議案は、関係する常任委員会に審査を付託しました。

その結果、補正予算をはじめ各議案については、原案のとおり可決・同意しました。

今定例会の主な議案の内容は、次のとおりです。

補正予算（第1回）

令和元年度の一般会計の総額に30億9千665万円を追加し、予算の総額を450億4千374万4千円とする。

令和元年度の主な施策（第6期総合計画に掲げたまちづくりの基本目標順）

1 あったかみのある地域福祉のまち

- ・高齢者運転免許自主返納サポート制度事業費 211万3千円
- ・先進的の事業支援事業費 3千885万7千円
- ・特定教育・保育施設給付事業費 1億7千858万7千円
- ・子育てのための施設等利用給付事業費 1億7千858万7千円

2 人と地球にやさしい環境のまち

- ・福祉バス更新事業費 7千102万8千円
- ・福祉バス更新事業費 5千188万1千円
- ・環境センター管理運営業務経費 1千880万9千円
- ・廃棄物処理施設改良事業費 9千460万円

3 安全で安心して暮らせるまち

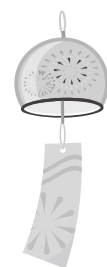
- ・焼却処理施設クレーン整備事業費 1千333万2千円
- ・葬斎場改修事業費 1千382万5千円
- ・避難所非常用発電機等整備事業費 3千176万円

令和元年度 各会計予算

（単位：千円）

| 会計名 | 平成30年度当初予算との比較 | | | | |
|------------|----------------|-----------|------------|------------|---------|
| | 令和元年度 | | | 平成30年度当初予算 | 増減率(%) |
| | 当初予算 | 補正 | 合計 | | |
| 一般会計 | 41,947,094 | 3,096,650 | 45,043,744 | 39,432,533 | 14.2 |
| 特別会計 | 14,633,218 | 1,333,836 | 15,967,054 | 14,468,445 | 10.4 |
| 国民健康保険 | 7,985,715 | 0 | 7,985,715 | 7,992,806 | △0.1 |
| 土地取得事業 | 380 | 1,330,482 | 1,330,862 | 380 | 350,127 |
| 公設地方卸売市場事業 | 42,962 | 540 | 43,502 | 67,154 | △35.2 |
| 霊園事業 | 30,337 | 0 | 30,337 | 27,134 | 11.8 |
| 介護保険 | 5,472,355 | 2,814 | 5,475,169 | 5,342,421 | 2.5 |
| 後期高齢者医療 | 1,101,469 | 0 | 1,101,469 | 1,038,550 | 6.1 |
| 公営企業会計 | 15,287,031 | 0 | 15,287,031 | 15,573,984 | △1.8 |
| 水道事業会計 | 3,266,438 | 0 | 3,266,438 | 3,239,707 | 0.8 |
| 下水道事業会計 | 4,649,468 | 0 | 4,649,468 | 4,959,973 | △6.3 |
| 病院事業会計 | 7,371,125 | 0 | 7,371,125 | 7,374,304 | △0.0 |
| 合計 | 71,867,343 | 4,430,486 | 76,297,829 | 69,474,962 | 9.8 |

- 交通安全教育施設再整備事業費 1千960万円
- 防雪柵整備事業費 1千390万円
- スタッドレスタイヤ対策事業費 550万円
- 4 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち
 - 教職員管理職住宅建替事業費 2千428万8千円
 - 北陽小学校分離校建設事業費 6億6千524万1千円
 - 給食用牛乳保冷库整備事業費 691万2千円
 - 市民文化センター施設更新事業費 1千892万円
- 5 活力ある産業拠点のまち
 - 排水機場施設改修事業費 1千600万円
 - 商店街観光消費促進事業費 2千813万9千円
 - プレミアム付商品券発行事業費 1億4千412万7千円
 - 美笛キャンプ場発電機更新事業費 2千369万7千円
 - 外国人旅行者誘客事業費 678万9千円



令和元年度千歳市土地取得事業特別会計歳入歳出予算の総額に13億3千48万2千円を追加し、予算の総額を13億3千86万2千円とする。

○ 市民協働による
自主自立の行政経営

- 市役所本庁舎改修等附帯事業費 1億97万1千円
- 写真誌ちとせ作成事業費 149万6千円

6 都市機能が充実したまち

- 千歳駅周辺バリアフリー地区整備事業費 5千566万7千円
- 市内公園整備事業費 1億2千910万円
- 青葉公園整備事業費 4千500万円
- 林東公園整備事業費 800万円

その他の補正予算

令和元年度千歳市公設
地方卸売市場事業特別会
計歳入歳出予算の総額に
54万円を追加し、予算の
総額を
4千350万2千円と
する。

令和元年度千歳市介護
保険特別会計予算の総額に
281万4千円を追加し、
予算の総額を
54億7千516万9千円
とする。

主な条例

◆千歳市情報公開条例及び
千歳市個人情報保護条例の
一部を改正する条例
市が設立した地方独立行
政法人を実施機関とし、併
せて条文の整備を行うため
に制定。

◆千歳市手数料徴収条例の
一部を改正する条例
工業標準化法の一部改正
に伴い、引用条文に所要の
改正を行うために制定。

◆千歳市霊園、墓地及び合
葬墓条例の一部を改正する
条例
消費税法及び地方税法の
一部改正に伴い、使用の承
認に係る管理料の額に所要
の改正を行うために制定。

◆千歳市水道事業給水条例
の一部を改正する条例
消費税法及び地方税法の
一部改正に伴い、給水装置
工事の工事費及び設計に係
る手数料の額並びに水道の
使用に係る料金の額に所要
の改正を行うために制定。

◆千歳市下水道条例の一部
を改正する条例
消費税法及び地方税法の
一部改正に伴い、排水設備
等の新設等の工事費及び設
計に係る手数料の額並びに
公共下水道の使用料の額に
所要の改正を行うために制
定。

◆千歳市個別排水処理施設
の整備に関する条例の一部
を改正する条例
消費税法及び地方税法の
一部改正に伴い、個別排水
処理施設使用料の額に所要
の改正を行うために制定。

◆千歳市病院事業の設置等
に関する条例の一部を改正
する条例
消費税法及び地方税法の
一部改正に伴い、医療又は
助産に係る使用料及び手数
料の額に所要の改正を行う
ために制定。

◆千歳市火災予防条例の一
部を改正する条例
工業標準化法の一部改正
に伴い、引用条文に所要の
改正を行うために制定。

改正を行い、及び住宅用防
災機器の設置及び維持に関
する条例の制定に関する基
準を定める省令の一部改正
に伴い、住宅用防災警報器
等の設置を免除する基準に
所要の改正を行い、併せて
条文の整理を行うために制
定。

人事

◆議長、副議長の選出
6月13日の本会議におい
て、議長および副議長の選
挙を行った結果、指名推選
により、議長に佐々木雅宏
議員、副議長に宮原伸哉議
員を選出しました。



副議長
宮原 伸哉



議長
佐々木 雅宏

◆次の件に同意
◎監査委員に
五十嵐 桂一 議員(新任)
◎公平委員会委員に
佐藤 大吾さん(新任)

第2回定例会において、意見書1件が議員提案され、全会一致で可決されました。意見書については、内閣総理大臣ほか関係大臣などに送付し、実現されるよう要望しました。

◆信頼される政府統計を目指してさらなる統計改革を求める意見書

第1回臨時会

4月22日に招集された第1回臨時会は、1日間の会期で開催されました。

この臨時会では、「副市長の選任につき同意を求めることについて」を含む議案2件が提出され、原案のとおり可決または同意し、このほか3件の専決処分について報告がありました。

◆次の件に同意
◎副市長に
横田 隆一さん（再任）



各委員会の活動状況

4月から6月までに開かれた各委員会の活動状況をお知らせします。



総務文教
常任委員会

▼4月18日（木）10時
千歳市民まちづくりアンケート調査を含む5件の所管事務調査を報告済みとした。

▼5月30日（木）10時
財産の処分を含む13件の所管事務調査を報告済みとした。

▼6月7日（金）13時
千歳市情報公開条例及び千歳市個人情報保護条例の

一部を改正する条例の制定など第2回定例会付託議案5件を原案可決とした。



厚生環境
常任委員会

▼4月17日（水）11時30分
千歳市介護保険条例の一部を改正する条例の制定の所管事務調査を報告済みとした。

▼5月30日（木）10時30分
千歳市病院事業の設置等に関する条例の改正（案）の概要を含む12件の所管事務調査を報告済みとした。

▼6月7日（金）13時
千歳市霊園、墓地及び合葬墓条例の一部を改正する条例の制定など第2回定例会付託議案2件を原案可決とし、令和2年度における保育定員の拡大の所管事務調査を報告済みとした。

▼6月13日（木）
本会議終了後
正副委員長を互選した。



産業建設
常任委員会

▼5月31日（金）10時
令和元年度千歳市一般会計補正予算（案）の概要を含む15件の所管事務調査を報告済みとした。

▼6月7日（金）13時
千歳市公設地方卸売市場条例の一部を改正する条例の制定など第2回定例会付託議案9件を原案可決とし、平成30年度観光客入込数を含む2件の所管事務調査を報告済みとした。

▼6月13日（木）
議会運営委員会終了後
青葉公園内の車止めによる事故についての所管事務調査を報告済みとした。

▼6月13日（木）
本会議終了後
正副委員長を互選した。



議会運営
委員会

▼4月22日（月）10時
第1回臨時会の議事運営について決定し、議会改革

について協議した。

▼5月24日（金）10時
議会改革について協議した。

▼6月5日（水）13時
第2回定例会の議事運営について決定し、意見書の提出について協議した。

▼6月13日（木）10時
6月13日（定例会2日目）の議事運営を決定し、意見書の提出について協議した。

▼6月13日（木）
本会議終了後
正副委員長を互選した。

▼6月28日（金）
補正予算特別委員会終了後
7月1日（第2回定例会最終日）の議事運営を決定し、意見書の提出についておよび議会改革について協議した。



技術立大
科学の公
立化調査
委員会
千歳科学
技術立大
学調査す

▼6月4日（火）13時
令和元年度公立大学法人公立千歳科学技術大学事業計画及び予算の概要を報告済みとした。



◎議員25年
坂野 智 議員

6月11日に開催された第95回全国市議会議長会定期総会において、坂野 智議員が永年勤続表彰（25年）を受け、第2回定例会本会議2日目の6月13日に、古川議長から表彰状等を伝達しました。



▼6月13日（木）
各常任委員会議終了後
正副委員長を互選した。

議決結果概要・議案についての賛否など

「○」=賛成
「×」=反対
議席番号「19」古川昌俊 議員は6/13まで、議席番号「23」佐々木雅宏 議員は6/13から議長のため、賛否は「-」としています。

| 事件番号 | 件名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 付託委員会 | 議決結果 | |
|--------|---|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|-------|------|-----|------|-----|------|-----|-------|--------|--------|------|
| | | 岩満順郎 | 飯田盛好 | 大山益巳 | 今野正恵 | 平川美由紀 | 仲山正人 | 宮原伸哉 | 末村友幸 | 山口康弘 | 松倉美加 | 小林千代美 | 北山敬太 | 松隈早織 | 渡辺和雄 | 五十嵐桂一 | 岡部いづみ | 山崎昌則 | 香月正 | 古川昌俊 | 坂野智 | 落野章一 | 吉谷徹 | 佐々木雅宏 | | | |
| 議案第1号 | 令和元年度千歳市一般会計補正予算について（第1回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | - | 補正予算特別 | 原案可決 | |
| 議案第2号 | 令和元年度千歳市土地取得事業特別会計補正予算について（第1回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 補正予算特別 | 原案可決 |
| 議案第3号 | 令和元年度千歳市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算について（第1回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 補正予算特別 | 原案可決 |
| 議案第4号 | 令和元年度千歳市介護保険特別会計補正予算について（第1回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 補正予算特別 | 原案可決 |
| 議案第5号 | 千歳市情報公開条例及び千歳市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 総務文教 | 原案可決 |
| 議案第6号 | 千歳市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 総務文教 | 原案可決 |
| 議案第7号 | 千歳市公設地方卸売市場条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第8号 | 千歳市食料品卸センター条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第9号 | 千歳市霊園、墓地及び合葬墓条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 厚生環境 | 原案可決 |
| 議案第10号 | 千歳市道路条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第11号 | 千歳市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第12号 | 千歳市普通河川条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第13号 | 千歳市準用河川条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第14号 | 千歳市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第15号 | 千歳市下水道条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第16号 | 千歳市個別排水処理施設の整備に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第17号 | 千歳市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 厚生環境 | 原案可決 |
| 議案第18号 | 千歳市消防手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 総務文教 | 原案可決 |
| 議案第19号 | 千歳市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 総務文教 | 原案可決 |
| 議案第20号 | 北海道市町村総合事務組合規約の一部変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 総務文教 | 原案可決 |
| 議案第21号 | 監査委員の選任につき同意を求めることについて | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | 同意 |
| 議案第22号 | 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | 同意 |
| 意見案第1号 | 信頼される政府統計を目指してさらなる統計改革を求める意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | 原案可決 |

市政

に

ついでにの質問

今定例会では、6月17日から19日の3日間、各党派等の代表質問と一般質問が行われました。

これらの質問の中から、主なものを掲載します。

なお、質問議員の党派および氏名は、次のとおりです。

代表質問議員

- ☆自民党議員会
山崎 昌則 議員
- ☆公明党議員団
仲山 正人 議員
- ☆ちとせの未来を創る会
小林千代美 議員

一般質問議員

- ☆日本共産党
吉谷 徹 議員
- ☆無所属
落野 章一 議員



自民党議員会
山崎 昌則 議員

財政運営

問 北陽小学校分離校建設

事業や道央廃棄物処理組合焼却施設建設事業などの大型事業の実施が予想されているほか、高齢者、障がい者子育てなどに係る扶助費などの増加が見込まれ、財源の確保や各種の事業の見直しは重要な課題である。今後の財政負担の見通しと対策を伺う。また、株式譲渡収入24億円の使途をいつ頃決めるのか、一部でも速や

かに、当市の成長発展に活用できるように検討できないか伺う。

答 市長 北陽小学校分離校建設事業および広域焼却処理施設建設事業の実施に伴う市の財政負担は、地方債の元利償還額と一般財源を合わせ、総額約80億円が必要となる見込みである。

この財源対策は、現在、財政調整基金や公共施設整備基金などの基金の活用を中心に検討を進めており、大型事業の実施によって、他の事業実施に大きな影響が及ばないよう、必要に応じて財源対策の一部前倒しも検討している。

北海道空港株式会社株式譲渡に伴い生じる収入の使途は、その活用策などについて検討を行うため、庁内関係部

上下水道の収支状況

問 昨年の4月に将来展望を見込み上下水道料金が改定

局による空港を核とした地域経済活性化戦略会議を設置し、使途の想定は、出資目的に照らし空港・航空関連の事業、空港および航空と関連が深い観光関連の事業、空港の民間委託によるSPCなどの連携事業の基本目的を優先的に検討することとしており、SPCによる具体的な提案事業および市全体の事業見直しを踏まえた上で、戦略会議などにおいて、地域の活性化につながる有効な活用策について、検討を進めていく。

され、水道料金が17・5%の値上げ、下水道料金が15%の値下げとなったが、令和4年には水道料金の再値上げが決まっている。

石狩東部広域水道企業団の水道料金が値下げされ、約5千万円の利益があると聞いているが、黒字決算が見込まれるのであれば、令和4年の水道料金の値上げは必要ないのではないか、考えを伺う。

答 市長 料金の改定は、経年劣化施設の更新を行うために最低限必要な補てん財源と、健全経営を維持できる現金保有の残高の確保も勘案しながら、市民生活や経済活動に与える影響を緩和するため、4年間で4億円を一般会計から繰入

れすることで、平成30年度と令和4年度に段階的に実施することを判断した。また、1回目の水道料金の引き上げに併せて、下水道使用料については引き下げを行っている。このような中、平成30年度は、約1億3100万円の純利益を計上する見込みだが、一般会計からの繰入金1億円を除くと実質的な純利益は、3100万円ほどとなる。これには、平成30年度の料金改定に当たって策定した収支見通しで見込んだ受水費が、石狩東部広域水道企業団の用水供給単価の引き下げにより5400万円ほど減少した要因が含まれている。また、平成27年度から計上している未処理欠損金は、平成30年度末においても約1億6000万

千歳市議会議員会

全国交通安全運動

～セーフティコールへの参加～

千歳市議会議員会は、会員相互の親睦などを図ることを目的として活動しているほか、議員研修等の事業を行っています。

また、春と秋の全国交通安全運動にあわせて実施されている「セーフティコール」に参加し、関係機関や団体のみなさんとともに、交通安全を願い、街頭啓発を行っています。



◆交通安全の街頭啓発を行う
「千歳市議会議員会」◆
令和元年5月13日(月)
＜JR千歳駅前付近の中央大通＞

会議録が、 タブレットやスマートフォンで検索できます！

これまで、定例会などの会議録の検索は、パソコン検索のみの対応となっておりましたが、このたび、スマートフォンやタブレットでも検索できるようになっています。

千歳市ホームページ内、「市議会」のページから「会議録」をクリックすると、PC版またはタブレット・スマートフォン版の会議録選択ができます。



会議録をクリック

医療行政

問 千歳市民まちづくりアンケートの調査結果では、病院・診療所の医療環境は円となり、依然として累積欠損金を有していることから、水道事業の財政基盤は、現時点では健全性を確保しているとはいえず、令和4年度の2回目の料金改定は必要であると考えている。

令和4年度に予定している15%の改定率については、石狩東部広域水道企業団からの受水費の減少により、数パーセント程度に引き下げが可能であると考えているが、今後の経営成績や財政状態を踏まえた中で、さらに検討を進めていく。

重要度が一番高く、満足度が低い項目であり、この状況は10年前とくらべても変わらない。本年2月に市議会主催で行った市民の声を聴く会でも、市民病院の待ち時間の長さが課題であるとの意見を頂いている。市民病院待ち時間解消に向けた改善策への取組についての考えを伺う。

答 市長 待ち時間の短縮については、大きな課題であると認識しており、患者満足度調査において、平均待ち時間を把握し、その対応策として、受付や会計業務の一括業務委託、自動支払機の設置および電子カルテの導入による院内伝達の迅速化を図るとともに、総合案内や外来窓口において、現在の待ち時間を表示するなど、患者への情報提供に努めてきた。また、待ち時間を少しでも快適に過ごしていただくため、外来待合各所への大型テレビの設置、生け花や絵画の展示を行うなど、待合環境の整備にも取り組んできた。

待ち時間は、外来患者数により大きく影響を受けるが、市民病院の外来患者数は、平成30年度が16万2009人、一日平均664人と、5年前の平成26年度と比べ10・1%減少したものの、依然として、全国の同規模病院の2倍以上の外来患者が来院し、待ち時間が長くなる大きな要因となっている。限られた医師数や外来ス

ペースの中で、待ち時間短縮を実現するには、患者数の制限を行うという方法もあるが、市民病院を希望される多くの方を診察したいという思いもあることから、患者数の制限を行うことは難しいと考えている。このため、市民病院では、従来より回復期や症状が安定した患者については、かかりつけ医の推奨を行うとともに、地域の医療機関との連携による患者の紹介、逆紹介の推進に努めているほか、平成21年度より医師の業務負担軽減を目的に、医師事務作業補助者2名を配置し、平成30年度末では、7診療科の外来などに合計20名のスタッフを配置している。各外来では、診察室に医師とともに同席し、入力業務の代行を行

その他の質問

- ・ 市長の政治姿勢
- ・ 産業振興
- ・ 福祉行政
- ・ 教育委員会 など



公明党議員団
仲山 正人 議員

認知症施策

問 認知症を患う人の数が、2025年には700万人を超えるとの推計値が発表されている。これは65歳以上の高齢者のうち、5人に1人が認知症に罹患する計算になり、さらに高齢化率が高くなる2040年には950万人との予想がされている。

認知症は、いまだ予防策や治療法が確立していないのが実情であるが、今後の

認知症施策への考えを伺う。

答 市長 認知症高齢者を支援し、地域包括ケアシステムの構築を進めるには、地域で認知症高齢者やその家族に対し、できる範囲で手助けすることが特に重要であることから、市では、認知症サポーターの養成を進めている。これまで養成講座を修了した方は、延べ6215人となっており、認知症サポーターフォローアップ講座は、これまで52人の方が講座を修了している。

今年6月6日には、コープさつぽろバセオすみよし店で、ちよこつと茶屋を開設し、約50人の高齢者が来訪したが、ここに6人の認知症サポーターがボランティアとして参加しており、グループ

ホームなどからは、認知症に理解のある人にボランティアをお願ひしたいとの要望も寄せられていることから、グループホームなどの協議を進め、認知症サポーターの活躍の場を広げていく。

現在、国では、認知症施策大綱の策定や、認知症基本法の制定が予定されており、今後、市としても、これらの内容も踏まえ、認知症施策を進めていく。

観光環境整備

問 地域経済発展のために、訪日外国人等の観光客を誘致し、地域活性化につなげることに重要な経済施策であり、そのための環境づくりが必要と考える。今後の

観光客誘致や中心市街地活性化への施策を伺う。

また、観光施策を展開する上で、必ず費用対効果の検証が必要であり、国が示すような観光経済効果等の算出が必要と考えるが所見を伺う。

答 市長 中心市街地活性化の取組について、本年度は、国の補助金を活用し、市商連が主体となつて、商店街観光消費促進事業を実施する。具体的には、冬期間、駅前通りや商店街などへイルミネーションなどの装飾の配置によりまちなみ景観を整備し、明るく彩ることで視覚的魅力を高め、宿泊施設から外出するきっかけをつくるほか、デジタルサイネージを道の駅サーモンパーク千

その他の質問

- ・ 市長の政治姿勢
- ・ 生活環境
- ・ 都市機能の充実
- ・ 保健対策と医療体制
- ・ 教育行政



ちとせの未来を創る会
小林 千代美 議員

第7期総合計画

問 第7期総合計画の策定作業が進んでいる。そこで、

次の3点を伺う。①今までは人口増が続いた千歳市だが、10年後は人口衰退期に入ることも念頭に入れなくてはならない。人口増が望めない社会の中で、何を千歳の発展と捉えるのか。②次期総合計画の策定支援業務の外部委託が決定したが、市民の英知と職員により作成作業をし、千歳の将来を描くべき。なぜ外部委託

をするのか。③策定作業中の市民協働について。

答 市長 ①人口の増加、維持は、まちの発展につながるものと考えている。また、目標に向かって企業や市民が一体となつて取り組むことは、活発な企業活動や市民活動を生み、そのことがさらなるまちの活力となる。今までよりも住みやすい、千歳に住んで

良かったと思つていただけることが本市の発展と考えており、その実現のため、様々な取組を進めていく。②総合計画の策定は市職員が中心となつて進めているが、資料の取りまとめや都市経営会議のサポート、まちづくりインタビューに関するアドバイスなどの支援について、策定作業をより効率的に進めるため委託

するものである。③策定に当たつては、多様な手法による市民意見の把握と幅広い市民参加が重要と考えており、市民3千人を対象としたアンケートを実施したほか、本年2月から都市経営会議を設置し、積極的な議論が行われている。今後、学生や子育て世代などを対象としたまちづくりインタビューの実施を予定

しているほか、総合計画審議会やパブリックコメントなど、さまざまな手法により市民参加を進めていく。

市民協働によるまちづくり

問 多発する災害対策が急務である。防災の観念に、女性の視点の導入がさらに求められている。そこで、①千歳

市防災会議における女性参画状況と今後の女性委員増の認識を伺う。また、児童が巻き込まれる事件・事故も多発している。そこで伺う。②学校における防犯教育について。③児童の登下校を見守る千歳っ子見守り隊に対する防犯訓練などの防犯対策について。④見守り隊のボランティア保険は、毎年全員の加入を確認

しているか、また、補償内容が十分なものかについて。答 市長 ①千歳市防災会議は、現在、37名の委員で組織しており、うち1名が女性の委員である。高齢者や女性などの多様な視点や考え方を反映させることは、意義あることと考えており、委員を任命する際は、女性の登用に配慮し、男女共同参画による地域

防災力の向上に努めていく。教育長 ②小中学校では各学年1回、防犯教室を実施しているほか、全国各地で事故や事件が発生した場合は、学級担任から指導を行うなど、児童生徒の防犯意識の醸成に努めている。③見守り隊には、危険を冒してまで不審者を追跡したり取り押さえたりしないよう、留意事項を定めた活

動マニュアルを作成し配布している。また、青少年指導員合同講習会を毎年実施しており、こうした機会を活用して、自らが身を守るための対応策などを確認していく。教育部長 ④各町内会等でボランティア保険に加入していることは聞いているが、市として、保険を掛けては



日本共産党 吉谷 徹 議員

生活福祉資金貸付事業

問 生活応急資金貸付制度について、市に在住する生活困難世帯に対し、不時の出費を援護し、経済的自立の助成と福祉の向上を目的とするものだが、上限金額が5万円、単身世帯は3万円と少な

い。答 市長 生活応急資金貸付事業は、緊急かつ一時的な予定外の出費などにより、生活が困難となつている世帯を援護するためのつなぎ資金として社会福祉協議会が独自に運営・実施する無利子の貸付事業である。千歳市社会福祉協議会では、一時的に必要な金額としては、貸付事業の目的を十分達成できるとし、変更する考えはないとのことであり、市も妥当なものと考えている。

児童虐待およびDV被害の防止とその支援等

問 児童虐待だけでなく、DVを始め虐待そのものを少しでも減らしていく、被害者を支援していくなどの取組が安心安全のまちづくりに寄与すると考える。第3次ちとせ男女共同参画推進プランにおいて、相談体制の充実、講義の開催などがあるが、プラン開始から現在まで取組状況に關し、行政の考える進捗や課題についてどのように感じているのか、DV加害者が子どもの戸籍謄本等を請求することを制限する規定を、千歳市独自の取組でできないのかなどを伺う。

答 市長 市は、平成29年3月に第3次ちとせ男女共同参画推進プランを策定してお

り、策定に際しては、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律に基づく、市町村基本計画を含めたものとしている。プランでは、相談窓口の周知や暴力の根絶に向けた正しい理解の促進、配偶者等からの暴力の防止、被害者の保護等の推進などの施策を位置づけ、取組を進めており、公共施設などへの相談窓口に関するリーフレットの配置や、専門学校等におけるデートDV講座の開催などを通じ、理解は深まってきているものと考えている。課題は、長期にわたりDVを受け続けたケースもあり、被害者が潜在化していることも想定されることから、引き続き、相談窓口に関するリーフレットの



無所属
落野 章一 議員

障がい者コミュニケーション ショーン条例の必要性

問 障がい者の状態は、社会の1番最後から来る進歩のバロメーターである。経済力も関係する。しかし、文化力つまり、人の心が制度化する面を反映している。日本に生まれて良かった、千歳の障がい者で良かったという状態に1歩でも近づきたい。

重度の障がい者は民法で古くは禁治産者、今は成年被後見人とされ、選挙権もなかったのだが、2013年の公職選挙法の改正で選挙権が認められた。財産管理能力がなくても、選挙権という国民の権利は認めようということだ。これによって確か約14万人の重度障がい者が選挙権を得た。

そこで何う。知的障がい、発達障がい等の重度な方については、コミュニケーションを諦めているケースもあるようだが、機器の発達や手段の工夫によって開かれる可能性はむしろ大きいのではないかと。

手段としてはルビを付ける、平易な言葉に置き換える、絵図・身振りなどを使う、話し言葉の代わりにボードに言葉やイラストを書くコミュニケーション支援ボード、これは、全国知的障害養護学校長会（現全国特別支援学校知的障害教育校長会）と明治安田こころの健康財団が、15年ほど前から全国に普及させようとしているものがあるが、このような手段の活用について、千歳市ではどこまで行われているか。

答 障がいの種別は多様である。ALSなどの神経難病や盲聾者などの少数者も置き去りにしないのがまさに福祉だ。合理的配慮による個々の障がい者施策も大事だが、それらの施策に統一性を持たせ、行政をガイドしていくのが障がい者コミュニケーション条例である。再来年には、第7期総合計画が始まる。その前にこの条例ができないのか何う。

市長 市は、障害者差別解消法に基づき、平成28年3月に障害を理由とする差別の解消の推進に関する千歳市職員対応要領を定め、障がいのある方に対する合理的配慮の適切な提供に関する事例集を作成し、職員へ周知している。

合理的配慮の事例には、ゆっくり、はっきり、短くわかりやすい言葉で丁寧に話すことや、重要なことはメモに書いて渡すこと、サインボードを窓口に用意し、筆談などに応じることなど、場面に応じて必要な配慮を例示し、実践している。

また、北海道が、平成30年4月に制定した北海道障がい者の意思疎通の総合的な支援に関する条例の中で、「障がい者一人一人の障がいの特性に応じた多様な意思疎通の手段の確保や、その環境整備などについて、北海道、市町村、道民、障がい者、意思疎通を支援する者、関係団体及び当事者がそれぞれの役割を認識し、一体となつて取り組まなければならない」ことが明記されていることから、障害者差別解消法や北海道の条例に基づき、障がいのある方への合理的配慮の提供とともに、情報取得とコミュニケーションしやすい環境の整備を進めていきたいと考えているが、市条例の制定については、今後、その必要性など、よく調査・研究していく。

副市長 落野議員の思いも議場でただ今しっかりといたしていたので、庁内で担当部を含めて良く議論していく。

会派構成

現在、議会内には3つの会派と諸派1名、無所属1名となっています。なお、議長および副議長は議会運営の公正を期するため、任期中は所属会派を離れることになっています。

- 議長
佐々木 雅宏
- 副議長
宮原 伸哉

自民党議員会(12名)

- 会長 山崎 昌則
- 副会長 五十嵐 桂一
- 幹事長 松倉 美加
- 総務幹事 岩満 順郎
- 政調幹事 大山 益巳
- 坂野 智
- 古川 昌俊
- 香月 正
- 岡部 いづみ
- 末村 友幸
- 山口 康弘
- 飯田 盛好

ちとせの未来を創る会(4名)

- 代表 小林 千代美
- 幹事長 渡辺 和雄
- 副幹事長 北山 敬太
- 松隈 早織

公明党議員団(3名)

- 代表 仲山 正人
- 幹事長 平川 美由紀
- 副幹事長 今野 正恵

日本共産党(諸派)

- 吉谷 徹

無所属

- 落野 章一

補正予算特別委員会

各常任委員会 議会運営委員会 構成

本定例会において、新たに各常任委員会、議会運営委員会の委員構成が決まりましたので、お知らせいたします。

総務文教 常任委員会 委員数 8 人 (定数 9 人)

加人正則 幸巳雄徹
美正 昌友益和
倉山月崎村山辺吉
松仲香山末大渡吉
委員長 長
副委員長 委員

厚生環境 常任委員会 委員数 7 人 (定数 7 人)

太好いづみ 一美紀
敬盛 桂代由一
山田部 嵐 千美章
北飯岡五十小川落野
委員長 長
副委員長 委員

※議長は、申し合わせにより、総務文教常任委員会委員を辞退しています。

産業建設 常任委員会 委員数 7 人 (定数 7 人)

弘郎 智俊織哉恵
康順 昌早伸正
山口満野川隈原野
山岩坂古松宮今
委員長 長
副委員長 委員

議会運営 委員会 委員数 10 人 (定数 10 人)

美加弘好 織恵徹
幸代正 美康盛順早正
友千 美康盛順早正
末小林月倉口田満隈野吉
村小香松山飯岩松今
委員長 長
副委員長 委員

補正予算特別委員会質疑

令和元年度一般会計補正予算を審査するため、議長を除く22人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置し、6月24日から6月27日まで付託案件に対する質疑を行いました。審査の結果は、第2回定例会最終日に報告され、すべて原案のとおり可決しました。

ここでは、11人の委員が行った質疑の一部を掲載します。

質疑委員

(質疑順)

- ☆日本共産党 吉谷 徹 委員
- ☆自民党議員会 香月 正 委員
- 飯田 盛好 委員
- 五十嵐 桂一 委員
- 岩満 順郎 委員
- 末村 友幸 委員
- ☆公明党議員団 今野 正恵 委員
- 平川 美由紀 委員
- ☆ちとせの未来を創る会 渡辺 和雄 委員
- 北山 敬太 委員
- 松隈 早織 委員

高齢者運転免許自主返納サ ポート制度事業費



日本共産党
吉谷 徹 委員

問 本事業は、バス利用補助券1万円分が1回のみ交付と聞く。しかし、市民が求めているのは、1度きりの交付ではなく、継続した自分たちの生活の足が免許証返納後もあるかどうかであると捉える。

そこで、毎年交付するなど、もう少し市民の生活に根ざした事業にするべきなのではないのかを伺う。

答 市民環境部長 本事業は、免許返納を迷っておられる方のきつかけとしていただくことを目的としているもので、その対象は75歳以上の免許を返納した方としているが、もともと免許を持っておらず、自費でバス等を利用していらっしゃる方にも、この制度について、ご理解をいただく必要がある。このため、バスの利用補助券を1回限りの1万円分としているが、本事業でまずバスの利用に慣れていただき、その後はシルバードでかけパスでバスをご利用いただきたいと考えている。





自民党議員会
香月 正
委員

財政調整基金積立金及び市債

問 北陽小学校分離校および広域焼却施設建設事業の実施に伴う市の財政負担について、地方債の元利償還額と一般財源を合わせた将来負担は、総額約80億円が必要となる見込みであるかと代表質問で答弁頂いたが、その大型2事業の各負担額と財源内訳、将来負担の期間について伺う。

答 総務部長 北陽小学校分離校建設事業の財源内訳は、国庫支出金が11億1千万円、地方債が19億8千万円、財政調整基金繰入金金が6億7千万円、一般財源が6億1千万円となっております。地方債に、償還期間を令和33年度までとした借入に伴う利子として3億4千万円が加わり、合計で約47億1千万円の事業費となる見込みです。このうち、市の負担となる経費は、地方債の元利償還額が、令和33年度から令和33年度までの31年間で総額約23億2千万円、一般財源が、令和元年度から令和4年度までの4年間で約6億1千万円の合計約29億3千万円です。広域焼却処理施設建設事業は、実施主体が道央廃棄物処理組合であり、本市の負担額は、令和26年度までの期間で、一般財源など総額50億2千万円程度を見込んでいます。



自民党議員会
飯田 盛好
委員

避難所用非常発電機等整備事業費

問 災害時には発電機が重要な役割を持つことから、①使用目的、設置基準、整備周期等について伺う。また、昨年の地震の際、始動できない避難所があったことから、②誰が責任をもつて発電機を始動させるのか。③職員に対する避難所物品取扱教育訓練の現状と、今後の予定について伺う。

答 総務部長 ①現在、指定避難所などに配備している非常用発電機は、屋外用投光器への電源供給を主な目的としているが、新たに整備する発電機は、屋内照明やコンセントが使用できる状況も確保することを目的として、広さなどに応じた設置基準はないが、市内50か所の公共施設などの避難所等に、2年計画で各1台ずつ設置する。また、発電機等は、毎年度、メンテナンス、動作確認を行っている。②あらゆる状況や不測の事態などを想定し、事前に非常用発電機の始動を担う方を決めていないが、備え付けの説明書で、どなたでも取扱いができるものとなっている。③避難所に派遣された職員が、災害時により実践的かつ的確な行動がとれるよう訓練内容の見直しを行う計画であり、非常用発電機の手順操作要領の教育も行う予定である。



自民党議員会
五十嵐桂一
委員

給食センター費

問 今回の牛乳用保冷庫に関して、今までどんな議論がなされたのか記憶にない。課題抽出がいつも突然で、我々と議論しようという姿勢を感じ取れない。こんな手法でこれからも給食センター議論を進めていくのか、所見を伺う。

答 教育部長 今後の新学校給食センター整備検討について、今年度は、基本構想を策定することとしており、素案を整理した段階で所管委員会にご説明し、ご意見をいただきましたと考えています。

また、現状で学校衛生管理基準を満たしていない中であって、この間においても、教育委員会には、安全安心な給食を提供していかねければならない責務がある。このことから、これまで改修や対応してきたところであり、その一環として今回、牛乳用保冷庫を購入することとした。

我々の認識としては、これまでの取組を続けてきたということであり、この点は、ご理解願いたい。



自民党議員会
岩満 順郎
委員

道路橋梁整備事業費

問 次の3点について伺う。①市道整備事業費の整備内容と具体的な場所。②千歳駅周辺交通バリアフリー地区整備事業費で計画する仲の橋通改良舗装の具体的内容。③冬期の寒暖の差で傷んだ道路の整備状況。

答 建設部長 ①道路橋梁整備事業費のうち、市道整備は、(1)改良舗装、(2)舗装修繕、(3)排水対策、(4)護岸保護、(5)実施設計を予定しており、整備する箇所は、(1)豊里3丁目(以下、丁目省略)、日の出5、富丘1、北斗4、新富1・2、花園7、朝日町6の8路線1522m、(2)根志越第2道路の1路線200m、(3)湖畔1号道路の1路線220m、(4)福神道路の1路線57m、(5)北栄1、新富1、東郊1など16路線2800mを予定している。②ニューサンロードの交差点から国道337号の交差点までの130mの工事を予定しており、歩道のブロック舗装を約500m、視覚障がい者用誘導ブロックの設置を約80m、車道は、高さ調整のため切削オーバーレイを約1500m行う。③冬期の寒暖差で損傷した道路は、穴埋め等の応急対策に加え、パッチングや切削オーバーレイなど舗装の復旧を実施した。



自民党議員会
末村 友幸
委員

高齢者学習施策

問 平均寿命の延長とこれに伴う高齢者の増加、年金や定年制度の変更等、高齢者を取り巻く社会情勢が大きく変化している。超高齢社会に突入した千歳市の元気なまちづくりのためには、千歳高星大学等も対象年齢や定員の拡大、開催場所の拡大等、時代に適応した受け入れ体制の見直しが必要と考えるが見解を伺う。

答 教育部長 2年制の高星大学の申込状況は、平成27年度が46名、平成29年度が44名、平成31年度が57名で、同じく高星大学大学院では、平成27年度が26名、再入学を認めるようにした平成29年度は34名、平成31年度は47名となっており、いずれもほぼ定員内という状況が続いている。

これら大きな変化がない要因としては、近年の高齢者の就業機会の増加のほか、介護予防や健康増進の機会が増えていることなどが考えられることから、現状では、直ちに事業の定員を拡大する状況にはないと認識しているが、今後も受講者ニーズの把握を行いながら、講義や講座の内容の充実に努めていく。



公明党議員団
今野 正恵
委員

産前・産後ケア事業費

問 産前・産後ケア事業を行うことになった背景として、市としてどのような考えがあったのか。また、子育ての孤立を防ぐということに対する考えを伺う。

答 保健福祉部長 市では、平成28年10月から専任の助産師を配置して産後ママ相談事業を、29年度からちとせ版ネウボラと連携を図りながら、直営事業として千歳市産後訪問ケア事業を実施し、妊娠や出産に不安を抱える妊婦の相談や出産直後の授乳・育児に関わる支援の推進を図っている。

また、本市は、転出入が多いという地域特性があり、身近に相談者がなく孤立する子育て家庭や、高齢出産の増加等により、妊娠・出産への不安を抱える母親も多いと考えることから、産後ケア事業の拡充は、出産を終えたばかりの産婦が、適切な支援者と関わりを持つことができ、精神的な安定に非常に効果的であり、子育てに関わる地域の支援者と直接つながること、支援者を身近に感じ、気軽に相談ができるなど、子育ての孤立化の予防にもつながるものと考えている。



公明党議員団
平川美由紀
委員

ブックスタート事業費

問 ブックスタートは、乳幼児健診の際などに保護者に絵本を贈り、赤ちゃんと絵本を通して楽しい時間を分かち合うことを理念としてイギリスで始まり、平成13年から代々の公明党議員が要望してきたが、今回、導入に至った背景とブックスタート事業に続くセカンドブック事業の実施見通しについて、所見を伺う。

答 教育部長 子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力や創造力を豊かにし、生きる力に身に付けていく上で不可欠なものであると認識している。これまでの議会質問でのご提言や他自治体の状況を調査し検討を行った結果、ブックスタート事業は、子どもの読書活動の推進に有効であると考え、今年度から導入することとした。

セカンドブック事業については、ブックスタート事業が今年度からの新たな取組であることから、まずはアンケートを実施し、結果の分析や既に取組を行っている自治体などの調査を行い判断していくが、もう少し状況を見させていたいただきたいと考えている。



ちとせの未来を創る会
渡辺 和雄
委員

教育費

問 市内の児童・生徒の学力は、全国平均に達していない。教育委員会として、どのように学力の向上をさせるのか、その方策とどの程度の水準までもっていかうと考えているのか伺う。

答 教育部長 学力を把握する一つの指標として、全国的な状況の比較が可能な全国学力・学習状況調査や標準学力検査等の結果を用いて子どもたちの学力の状況を把握することが可能であることから、これら調査における全国平均到達率の一つの指標として、取組を継続していく。

また、学力の向上には、教員の指導力向上や指導方法の改善等の学校の取組、ICT機器の整備や学習支援員の配置等の取組に加え、子どもがゲームやテレビに費やす時間を減らして学習時間に充てること、規則正しい生活により睡眠時間を確保すること、読書を推奨することなどの家庭における生活習慣改善の取組が大変重要であると考えており、今後、学校、教育委員会、家庭の三者が一体となった取組を行っていく。



ちとせの未来を創る会
北山 敬太
委員

商店街観光消費促進事業費

問 本事業は、総額で約8千万円、3分の2の国庫補助があるとしても、単年度で3千万円近い市費を投入する事業である。商店街に属さない他の商業者から見れば、理解しがたい不公平感を感じると思うが、なぜ、事業主体である商店街組織には一切の経費負担を求めないのか理由を問う。

答 産業振興部長 本事業は市商連が主体となり実施するもので、対象経費の3分の2に相当する額を上限として国から補助を受けることとなる。その不足分の3分の1を市が市商連に補助することとなるが、市商連は、第2期商業振興プランに基づいて実施する事業に一定程度の負担をしており、本事業の維持管理を含めた今後の財務状況等を考慮し、新たな負担を求めることは困難であると考えている。

本事業は市としても、中心市街地の活性化を図るうえで最も重要な事業と捉えており、この絶好の機会に商店街の回遊を促すための環境を整備することが、行政の役割であると考えていることから補助を行うものである。



ちとせの未来を創る会
松隈 早織
委員

子ども食堂応援事業費

問 ①子どもの貧困対策として検討すべき事業と考えるが、目的が何か伺う。②子ども食堂の経費等補助について検討すべきと考える。また、ふるさと納税や、新たに基金を創設して寄付金を募り、これを財源として子ども食堂の運営を支援できないか伺う。

答 こども福祉部長 ①子ども食堂は、交流型と貧困対策型の2つに分けられ、現在、市内で運営されている3カ所の子ども食堂は、すべて交流型である。本事業は、貧困対策に限定するものではなく、地域のみんなで子育て家庭を支援する機運の醸成を図ることを主眼とする取組と考えている。②子ども食堂への運営費の直接的な補助は、現在のところ行っていないが、間接的な支援として、開催場所の提供、企業や個人から商品の寄附の申し出があった場合の仲介、市のホームページ等を活用したPRや子ども食堂の運営に関する各種情報提供など、費用の負担軽減に繋がる支援を行っており、このような支援をさらに充実させていきたいと考えていることから、現時点では、補助やふるさと納税の活用、基金の創設等は考えていない。

平成30年度 政務活動費収支報告

各党派等の収支報告内容

| | 交付額 (円) | 収入額 (円) | 支出額(円) | | | | | | | | 返還金 (円) | | |
|---------------------|------------|------------|-----------|---------|-----|-----|--------------|---------|-----------|-----------|------------|-----------|---------|
| | | | 調査 研究費 | 研修費 | 広報費 | 広聴費 | 要請・陳 情活動費 | 会議費 | 資料 作成費 | 資料 購入費 | | 支出 合計 | |
| 自民党議員会 (11名) | 2,200,000 | ※12 | 324,120 | 533,802 | | | | 532,980 | | | | 1,390,902 | 809,110 |
| 公明党議員団 (4名) | 800,000 | ※3 | | 257,292 | | | | | | 19,449 | 2,361 | 279,102 | 520,901 |
| ちとせの未来を 創る会(4名) | 800,000 | ※3 | | 420,000 | | | | | | 46,411 | 73,619 | 540,030 | 259,973 |
| 日本共産党 (1名) | 200,000 | ※1 | | | | | | | | | | 0 | 200,001 |
| 無所属 落野章一 議員 | 200,000 | | | | | | | | | 4,495 | 6,200 | 10,695 | 189,305 |
| 無所属(議長) 古川昌俊 議員 | 200,000 | | | | | | | | | | | 0 | 200,000 |
| 無所属(副議長) 坂野 智 議員 | 200,000 | | | | | | | 50,300 | | | | 50,300 | 149,700 |

※収入は預金利子

政務活動費の交付概要

◎政務活動費とは◎

・千歳市議会議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、市議会の会派又は会派に所属しない議員に対して交付するものです。

◆交付額◆

議員 1 人あたり年額 20 万円

◆交付方法◆

会派（無所属議員を含む。）交付とし、残余が生じた場合は、その額を返還することになります。

◆収支報告書・領収書の公開◆

収支報告書・領収書の内容は、市議会ホームページで公開しています。

※市議会では、政務活動費の具体的な運用上のルールや取扱いを定めた「政務活動費の運用基準」を策定し、市議会ホームページで公開しています。

各会派等の主な支出

◎自民党議員会

○調査研究費

・自衛隊部隊等調査研究（富士吉田市、御殿場市） 7 名 324,120 円

○研修費

- ・日本自治創造学会研究大会「人生 100 年時代の地域デザイン」（東京都） 1 名 58,830 円
- ・自民党議員会勉強会「皆さまにお伝えしたいこと」講師：樋渡元武雄市長 11 名 110,000 円
- ・全国地方議会サミット「議会のチカラで日本創生」（東京都） 1 名 66,380 円
- ・全国市議会議長会研究フォーラム「地域共生社会をどうつくるか」（宇都宮市） 2 名 82,580 円
- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けたシンポジウム
「文化の祭典に向けてオールジャパンで盛り上がろう」（東京都） 1 名 30,620 円
- ・地方議会総合研究所議員研修「よくわかる地方財政と自治体予算」（東京都） 1 名 60,956 円
- ・地方議会総合研究所議員研修「災害時における地方議会・議員の役割」（東京都） 1 名 58,576 円
- ・地方議会総合研究所議員研修「政策力アップ基礎講座」（名古屋市） 1 名 65,860 円

○要望・陳情活動費

- ・千歳市の自衛隊体制強化を求める要望（東京都） 8 名 342,160 円
- ・千歳市の自衛隊体制強化を求める要望（東京都） 5 名 190,820 円

◎公明党議員団

○研修費

- ・北海道の自衛隊を支える中央大会 2018「次期防衛計画大綱への提言」 3 名 107,040 円
- ・全国地方議員サミット「議会のチカラで日本創生」（東京都） 3 名 150,252 円

◎ちとせの未来を創る会

○研修費

- ・地方議員研究所「自治体病院経営を考える」（大阪府） 1 名 149,870 円
- ・つながる塾第 11 回講演会「私にとっての熊本そして阪神・淡路大震災」（熊本市） 1 名 84,320 円
- ・市町村議会議員特別セミナー「生涯現役社会の条件」他（大津市） 1 名 44,760 円
- ・地方議員のための自治体決算の基本と審査のポイント講座 他（一宮市・名古屋市） 1 名 44,850 円
- ・市町村議会議員研修（2 日間コース）「自治体予算を考える」他（大阪府・大津市） 1 名 44,000 円
- ・TRCセミナー「まちの課題を解決する図書館」（東京都） 1 名 52,200 円

◎無所属 坂野議員

○要請・陳情活動費

- ・千歳市の自衛隊体制強化を求める要望（東京都） 1 名 50,300 円

「住み続けたいまち千歳」を議員と一緒に考えてみませんか。

第7回市民の声を聴く会

- ◆ 開催日 ◆ 令和元年9月18日 (水)
- ◆ 開 場 ◆ 18 時 00 分
- ◆ 時 間 ◆ 18 時 30 分～ 20 時 30 分
- ◆ 場 所 ◆ 総合福祉センター4階 402号室
(東雲町2丁目34番地)

※ 事前申込の必要はありません

市民の声を聴く会では、参加者は希望するテーマのグループに分かれ、市議会議員とグループトークを行います。

◎ 今回のグループトークのテーマは、決まり次第、市のホームページ、広報ちとせ、ポスターなどでご案内する予定ですので、皆様の参加をお待ちしております。

主催／千歳市議会 問い合わせ先／千歳市議会事務局（電話 24-0793 又は 24-0773）

議会事務局からのお知らせ

★議会の予定

令和元年第3回定例会は、9月17日（火）に開会する予定です。
正式な日程は、議会運営委員会で決まりましたら、ホームページやポスターでお知らせします。

★ホームページのご案内

会議の出欠状況や、議会だよりで掲載している以外の質問などをご覧になることができます。
ぜひアクセスしてみてください。

★表紙を募集しています！

「市議会だより」（年4回：2・5・8・12月発行）の表紙を飾る写真や絵、イラスト等を募集しています。
千歳の四季や季節の行事をイメージできるものがありましたら、ご応募をお待ちしております。

（問い合わせ先）
千歳市議会事務局 総務課 調査係
TEL 0123-24-0791（直通）

★点字・音声版市議会だより

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容を点字・録音したものを作成しています。
希望される方は、次のところまでお問い合わせください。



（問い合わせ先）
千歳市総合福祉センター2階
点字図書室 TEL 0123-27-3921

編集後記

5月1日に新天皇が即位され、新たな時代「令和」が始まりました。新時代を祝福するように、米国大統領の訪日やG20サミットなど、世界が注目する華やかな外交が展開され、大変誇らしく感じました。

本市においても、山口市長が第6代千歳市長として5期目の市政をスタートさせるとともに、第27代市議会議長に佐々木議員が就任しました。

副議長、各委員長、会派の会長なども交代し、千歳新時代の新鮮な空気が議会に充満しています。これからは時代の変化、千歳市を取り巻く情勢の変化がますます速くなります。千歳市議会は、時代の空気を敏感に察知しながら、市民の皆様とともに進化してまいります。
(委員長 末村 友幸)

議会報編集委員会

- 委員長 末村 友幸
- 副委員長 小林 千代美
- 委員 飯田 盛好
- 松倉 美加
- 平川 美由紀
- 渡辺 和雄
- 吉谷 徹

市議会だよりは、再生紙と大豆インキを使用しています。